

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質							3.1
Q1 室内環境			0.40	-	-		2.9		
1 音環境		3.0	0.15	-	-		3.0		
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-				
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-				
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	-				
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-				
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-				
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-		2.6		
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-				
1 室温		3.0	0.50	3.0	-				
2 外皮性能		3.0	0.17	3.0	-				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.33	-	-				
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-				
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-				
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-		3.0		
3.1 昼光利用		3.0	0.50	-	-				
1 昼光率		3.0	-	3.0	-				
2 方位別開口		-	-	3.0	-				
3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0	-				
3.2 グレア対策		-	-	-	-				
1 昼光制御		3.0	-	3.0	-				
3.3 照度		3.0	-	3.0	-				
3.4 照明制御		3.0	0.50	3.0	-				
4 空気質環境		3.5	0.25	-	-		3.5		
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-				
1 化学汚染物質	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用。	4.0	1.00	3.0	-				
4.2 換気		3.0	0.30	-	-				
1 換気量		3.0	0.50	3.0	-				
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	-				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	-				
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-				
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-				
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-				
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-		3.4		
1 機能性		3.5	0.40	-	-		3.5		
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-				
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-				
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-				
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-				
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30	-	-				
1 広さ感・景観	売場の天井高は3.6m以上である。	5.0	0.33	3.0	-				
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33	-	-				
3 内装計画		3.0	0.33	-	-				
1.3 維持管理		4.5	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計	風除室の1次扉と2次扉が同時に開かない様に距離を1m以上確保している。溶融亜鉛メッキやガルバニウム鋼板の他にやSUS・アルミを採用し防錆対策としている。	5.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保	トイレ毎にSKを設置している。廃棄物保管施設のスペースを建物の延床面積の対し十分確保(0.69%)しており、かつ搬出が容易な計画になっている。	4.0	0.50	-	-				
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-		3.0		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-				
3 電気設備		3.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-				

3 対応性・更新性			3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高6.56m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率<0.1	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BPI][BPI _m]= 0.94	3.4	0.20	-	-	3.4
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m]: 0.75、LED照明設備を採用。	4.0	0.50	-	-	4.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		自動水栓に加えて節水型便器を採用。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.60	-	-	3.7
2.1 材料使用量の削減		鉄骨の基準強度F=325以上。冷間ロール成形角型鋼管使用。	4.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル系床材・階段、腰壁、陶磁器質タイル・各トイレ床	4.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材の詳細を採用し、GL工法も採用している。	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発砲断熱材ODP=0、GWP(100年値)1以下。	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率=77%	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1 大気汚染防止		燃焼機器は使用していない。	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	自転車置場・駐車場を設置し、荷捌き用駐車スペースも設けている。駐車場導入路に待機場を設置し、周辺道路の渋滞緩和対策としている	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.3	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制	4時間/2.5時間に対して基準を満たしている。	4.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	照明器具は照明率の高いものとした。屋外広告物照明は、発光部分及び照射範囲を点滅させない。	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	